

お知らせ

市有地公募売却
価格等詳細は10月上旬から
財政局ファシリティマネジメント推進課 0671-2264

令和6年度 個人市民税・県民税・森林環境税(第3期)

①納付期限②納付方法のお知らせ

①10月31日(木)まで②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替
居住区の区役所税務課か、財政局
①税務課 (Tel) 671-2253 (Fax) 641-2775
②徴収対策課 (Tel) 671-2255 (Fax) 641-2775

就学援助制度
入学準備費申請のお知らせ

10月中旬発送の就学通知に申請書を同封。2025年4月に市立小学校・義務教育学校へ入学させるのに経済的に困難な人は申請を
申 10月23日～11月5日
問 教育委員会学校支援・地域連携課 (Tel) 671-3270 (Fax) 681-1414

障害者プラン説明会 参加者募集

4月に改定した第4期プラン。当日先着100人
日 10月17日(木)11時～12時
所 横浜ラポール
問 健康福祉局障害施策推進課 (Tel) 671-3604 (Fax) 671-3566

地域密着型サービスへの
民有地活用説明会 参加者募集

介護事業所として土地活用を検討する土地所有者、各抽選40人。詳細はWEBで
日 各14時～16時30分。①10月24日(木)
②11月1日(金)③11月12日(火)
所 ①ウィリング横浜②青葉公会堂
③保土ヶ谷公会堂
申 希望日の1週間前まで
問 かながわ福祉居住推進機構 (Tel) 264-4784 (Fax) 264-4785) か健康福祉局介護事業指導課 (Tel) 671-3414

①献血②骨髄ドナー登録に協力を

健康体で体重が男性45kg・女性40kg以上の人。①16歳～69歳②18歳～54歳

日 各10時～16時(11時30分～12時45分除く)。10月29日(火)・30日(水)
所 市役所アトリウム
問 健康福祉局健康推進課 (Tel) 671-2451 (Fax) 663-4469

悩みを抱える女性のためのホットライン

孤独や不安を感じている人の相談に対応
日 10月28日(月)～11月1日(金)の18時～20時。
専用電話(みずら相談室)534-9551)
問 みずら事務局 (Tel) 534-5274) かこども青少年局こどもの権利擁護課 (Tel) 671-4288 (Fax) 550-3948)

不登校相談会 開催

経験者の体験談と個別相談。不登校の児童・生徒と保護者など。事前申込制。詳細はWEBで
日 11月9日(土)13時～16時30分
所 南区役所
申 11月5日までに (Tel) で横浜子ども支援協議会事務局(教育支援協会内、(Tel) 243-6840)

問 申込先か教育委員会人権教育・児童生徒課 (Tel) 671-3384 (Fax) 671-1215)

意見募集中の
案件一覧はこちら

市民意見募集

①都市計画マスタープラン(素案)
②児童相談所一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例(骨子案)
③第5期ひとり親家庭自立支援計画(素案)
④第3期子ども・子育て支援事業計画(素案)
資料の閲覧は期間中WEBで
日 ①②10月1日(火)～31日(木)
③④10月17日(木)～11月15日(金)
問 ①都市整備局企画課 (Tel) 671-3749 (Fax) 664-4539) ②こども青少年局こどもの権利擁護課 (Tel) 671-2394 (Fax) 550-3948)
③こども青少年局こども家庭課 (Tel) 671-2390 (Fax) 681-0925) ④こども青少年局企画調整課 (Tel) 671-4281 (Fax) 663-8061)

申請期限は
10月25日(金)
必着

給付金の申請は済んでいますか？

締切迫る！

定額減税補足給付金(調整給付)

国の定額減税において減税しきれないと見込まれる人への給付



電力・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金

令和6年度新たに住民税非課税等になった世帯への給付



対象者には、7月下旬に上記の封筒で申請書を送付しています。振込先口座などを記入して必要書類と一緒に返送してください。

申請書を紛失した場合は、次の方法で再発行を依頼してください。

【調整給付金】10月18日(金)までに専用ダイヤルへ問い合わせてください。

【緊急支援給付金】専用ダイヤルまたは区役所設置のサポート窓口へ問い合わせてください。

※給付対象であるにも関わらず申請書が届いていない場合も、専用ダイヤルへ問い合わせてください。

申請期限は10月25日(金)必着



詳しくはこちら

問合せ 専用ダイヤル 0120-045-320(月～金曜9時～19時(土日祝・休日を除く)) 0120-303-464

よこはま
彩発見
vol.22

海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は10月14日の鉄道の日になみ、横浜市電保存館(磯子区)からです。

レトロな気分に浸れる横浜市電保存館～新たな模型ジオラマ「ハマジオラマ」が誕生

横浜市電保存館館長 武藤 隆夫



▲3つの運転ショーが楽しめる「ハマジオラマ」

横浜の路面電車の歴史は、今から120年前に始まりました。1904(明治37)年、横浜電気鉄道株式会社によって神奈川(現在の横浜駅付近)～大江橋(現在の桜木町駅前)間で開通。運賃は3銭、翌年には日露戦争の財源とするため通行税が加算され4銭となりました。うどんやそばの値段が2銭の時代です。やがて1921(大正10)年、今からおよそ100年前に路面電車は市営化され、現在、市電保存館がある滝頭にて横浜市電気局が発足。横浜市電の誕生です。

市電保存館は、市電が廃止された翌年の1973(昭和48)年に、磯子区滝頭の市電車両工場の跡地で開館、昨年には開館50周年を迎えました。館内に展示されている市電の車内に入り、座席に座るとたちまち昔にタイムトリップ。どこか懐かしくてレトロな気分に浸ることができます。また「横浜の発展と交通」をテーマとした歴史展示コーナーでは、地図や写真、映像や実物展示などにより横浜の歩みをご覧いただけます。

そして、お薦めは昨年7月にオープンした模型ジオラマ「ハマジオラマ」。横浜の街を模した全長9.5mのジオラマ上を電車やバスが走行、映像や照明、音響を駆使した運転ショーは子どもから大人まで楽しめます。横浜の温故知新を再発見できる市電保存館にお越しになりませんか？

ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
あり



さらに
詳しい話は
こちら

横浜市電保存館 有料

【交通】市営バス「市電保存館前」下車、徒歩1分。または「滝頭」下車、徒歩3分。

【休館】水・木曜(祝日の場合は開館)、年末年始



問合せ 横浜市電保存館 045-754-8505 045-754-8507